



unicef for every child

(公財)日本ユニセフ協会協定地域組織 / 愛知県ユニセフ協会
〒464-0824 愛知県名古屋市中種区稲舟通1-39
生協生活文化会館 2階(コープ本山2階)
☎ 052(783)7230 FAX 052(781)7191



次代を担う子どもたちのために

子どもの命を守る

愛知県ユニセフ協会 副会長・理事
小室 尚子



ユニセフ協会は、今、この世界に生きている全ての子どもの命を守るために働いています。

マスクの着用を強いられたコロナ禍の中、相手の表情をよみとることができなくて戸惑う子どもたちのことを幼稚園の教諭たちは心配していました。また互いの距離を離すことも子どもたちには難しいことでした。子どもたちは、自分が生きて行くために何が必要なのかを本能的に知っています。人と人とが真のコミュニケーションをとる方法を

知っているのです。互いに歩み寄ること、触れ合うこと、表情を読むこと、声をかけること。大人も、大人のルールでそれらを失わせてしまうことに戸惑っていました。コロナ禍は一応収まりましたが大切な課題が残されたと思います。

また格差の大きい世界の国々で、餓えている子どもがいる一方で飽食の日々を過ごしている子どもがいる。医療を十分に受けられないで命を落とす子どもたち。そして身勝手な大人の私利私欲の犠牲になっている数えきれない子どもたち。子どもたちの危機は突き詰めれば全て人間が招いていることです。わたしたち一人ひとりが世界中の子どもたちの命に責任があることを自覚することが必要でしょう。拙い力であっても次代を担う子どもたちのために捧げていきたいと願います。

unicef for every child



子どもたちの声

ユニセフの学習会で学んだ
小・中・高校生の皆さん
からの声を紹介します。

どうやって
平等になるのか？

世界のみなが公平になって
ほしいから募金をしたりする。

ユニセフのDVD
教材を見て、学校
教科書だけでなく
映像から学ぶ
ことが多かった。

小学生がやって一番
効果がある活動、私
たち子どもにできる
ことはなんですか？

いろいろなしえんをして
いるユニセフがかっこ
いいと思いました。

どうして世界には今日学ん
だことを考えようとしない
人がいるんだろう(戦争を
おこしているひと)

ぼくたちが
いますぐに
できることは
ありますか？

ユニセフを通じて
世界の子どもたちと
触れ合いたい。

すべての子どもに を

笑顔

自分の意思

希望

夢

自由

幸せ

楽しみ

未来と権利



団体賛助会員の紹介

愛知県ユニセフ協会の活動を支援していただいている企業・団体の皆さまの
世界の子どもたちに向けた想いやユニセフへのエールをご紹介します。



愛知県労働者福祉協議会 (愛知労福協)

●愛知労福協は、愛知県下で働く者の集まりである労働団体と福祉事業団体で構成される組織です。労働運動の一環として行われる「労働者福祉運動」を通じて、働く者とその家族の生活の向上と安定をはかり、安心・共生の福祉社会の実現を目指しています。福祉事業団体には、東海労働金庫、こくみん共済coop愛知推進本部、愛知県労働者福祉基金協会(ハートフルセンター)があり、生活に欠かせない「お金、保障、福利厚生」をそれぞれの立場で働く者の役に立つよう日々活動を続けています。働く者のライフステージの時々で福祉事業団体はお役に立てると信じています。お困りのことがあれば、遠慮なくご相談ください。



●働く者とその家族、ということは当然子どもたちも含まれるわけであり、その点でいえば世界中の子どもたちの命と平和な暮らしを守り、全ての子どもの権利が実現される世界を目指すユニセフの行動と同一軌道にいます。愛知県ユニセフ協会の立ち上げ時に声をかけていただき現在に至っていますが、まだまだ具体的な取り組みはできていません。引き続き、愛知県ユニセフ協会に参画し未来の世界を担う子どもたちにできることを模索し、実践していきたいと考えていますのでよろしく願います。ともに頑張りましょう！



生協宅配システム アイチョイス 一宮生活協同組合

誰もが国産オーガニック食品を
食べることができる社会を目指す

●世界では、紛争や自然災害、経済的困窮、生活環境などの影響を受けて、この瞬間にも同じ地球の中で生きていくための最低限の支援が必要な人たちが大勢います。とりわけ、未来の宝といえる子ども達への支援はとても大切なことといえます。



●私たちのこの日本でも、かつての戦後の大変な時期にはユニセフのさまざまな支援が受けられたことによって、今日までの復興が果たせたといっても過言ではないことをどれだけの方がご存知でしょうか？現在、ユニセフでは、全ての子どもたちの命と権利をまもるため、世界で支援の届きにくい子ども達を最優先に活動しています。一宮生協では、こうしたユニセフの活動に賛同し、支援活動に参加しています。同じ地球の上に生まれながら、過酷な生活を強いられている人々や地域の現況を多くの方々にお知らせする活動や募金活動など、「できる時に」、「できる事を」といったスタンスで、生協の組合員さんや地域の皆さんと一緒に支援の輪を拡げていきます。



(株)おとうふ工房 いしかわ

●私たちの社是は「全ての人を幸せにしたい」です。これはユニセフが、子どもたちの命と人権を守る活動の原点にあるものと同じだと思います。



●今から30年程前、家族経営の生業だったころ、「自分の子どもに食べさせたい豆腐を作ろう」という想いを掲げました。この想いに多くの皆様が共感してくださり今日のような事業に成長させていただきました。そして企業理念である「日本の農業を守る」、「地球の環境を考える」、「食文化を継承創造する」、「地域貢献する」の目標達成に向けて「PAY IT FORWARD (次世代への恩送り)」を行動指針とし、食育活動や、特別支援学校の生徒への自立支援、リサイクル事業などといったCSV活動にも取り組み、20年後30年後の子どもたちの笑顔を作っていくために、邁進しています。

●社員の名刺の表には「まめにひとすじ」裏には「だいの粒は3粒まきます 鳥のために一粒 土のために一粒 残りの一粒は自分のために 食べ物に感謝 「いただきます」と書いてあります。この言葉には自然や環境への感謝の気持ちと、これからも大豆を使って世の中すべての人を幸せにしたいという想いを込めています。今後もSDGsの前文にあるような「誰一人取り残さない社会」の実現に向けて、愛知ユニセフ協会への協力も含め、活動の幅を広げてまいります。



株式会社 東海共同印刷

●私たち東海共同印刷は、平和や民主主義の発展を願う方々のメディアセンターとして、1974年に設立されました。設立以来、平和・民主主義・人権・子どもの権利などの社会問題を提起し、改善するための運動を行っている団体、労働組合などが発行する広報物の制作をお手伝いしてきました。

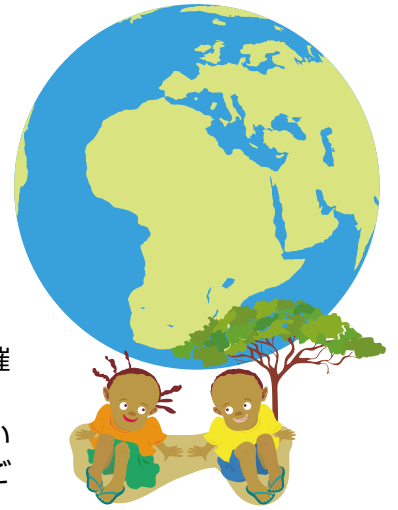


●「地球環境を考える」取り組みとしても、消費エネルギーを削減しつつ、太陽光パネルなどの再生可能エネルギーで環境へ配慮するため、2013年に本社ビルのZEB化(ゼロ・エネルギー・ビル)を進めました。愛知県ユニセフ協会にお声がけいただき、参画できることは、会社の設立の精神からしても大変光栄なことだと思っています。

●今年、私たちは50周年を迎えました。「社会をよくしたい」人たちに必要とされる会社」という新しいビジョンを掲げました。ご依頼いただく印刷物、ホームページ、SNS、動画が一人でも多くの方々に届くことで、社会で苦しむ方々が一人でも救われるよう、デザインや言葉の細部までこだわっていきたく思います。

アフリカを 知ろう! 体験しよう!

アフリカday 開催



8月4日(日)、本山にある生協生活文化会館4階ホールにて愛知県ユニセフ協会主催「アフリカday」を開催しました。

大人から子どもまで100名を超える皆さまにご参加いただき、ユニセフが支援しているアフリカ大陸を見て・聴いて・体験いただきました。熱気にあふれた会場の様子をご報告します。

北瀬尚之さんのお話

タンザニアの最大都市はダルエスサラームです。中心部から少し離れると貧富の格差があります。不十分な教育環境というのが現実ですが、どこでも子どもの笑顔がステキです。

大府市の小学校の活動が市民活動となって大府アフリカ教育支援プロジェクトが始まりました。少女には、生理用布ナプキンの製作を指導しました。教育は、貧困が原因で大人に騙されて望まない妊娠に繋がるケースもあり、その結果教育の機会を失うなど後の人生に関わる大切なことです。この他、科学の授業を行ったり、日本文化の紹介として書道をして楽しむ姿が紹介されました。

タンザニア・ウスワ村には、診療所はありますが、中身の設備は十分に揃っていないのが現状です。ウスワ村に「救急車を！」という取組で、来年は救急車の寄付を現在準備しています。その救急車は現在現役で稼働している救急車ですので、ウスワ村に届くと医療に助かることになります。全てはこの笑顔のために！



中溝夫妻によるタンザニアクイズ (抜粋)

Qタンザニアってどんな国?

- 面積
アフリカ大陸は日本の80倍
タンザニアは日本の約2.5倍
- 国旗
緑⇒大地、黒⇒国民、
青⇒海、黄色⇒鉱物資源



Qタンザニアでは7~13歳が義務教育期間ですが、落第(留年)はあるの?

4年と7年で「国家試験」があり、合格しないと落第(留年)があります!

Q足の速さが速い順は?

- ①チーター (110km)
- ②ダチョウ (70km)
- ③ライオン ④キリン
- ⑤ゾウ ⑥カバ



ユニセフ講座

ユニセフの基礎的なお話をしたあと、アフリカの子どもたちの動画を視聴いただきました。募金がどのように使われているのかも「100円の旅」でご紹介しました。



浅野晴美さん方のメンバーによるジャンベ(太鼓)たたきや踊り体験をはじめとした交流コーナー♪



多くの皆さまのご参加・ご協力ありがとうございました♡

イベント

名古屋市立名東高等学校国際英語科ゼミ生3名の皆さんが募金活動を行いました



2月10日(土)昨年7月に本山事務所・展示ルームにてユニセフ学習会を受け、同高等学校の先生と一緒に自分たちで駅や交番に問合せなどの段取りを経て実現しました。藤が丘駅やリニモ駅前を行き交う方々に元気に呼びかけました。自分たちで考え行動を起こすという貴重な体験をしていただきました。

コープあいち2024年度春の職員集會にブース出展しました

3月13日(水)安城へきしんギャラクシープラザにて店舗部門、16日(土) 宅配部門、17日(日)福祉部門を白鳥国際会議場にて、コープあいち春の職員集會が開催され、ブース出展しました。展示ブースには、「マンスリーサポートで応援しています。」「これが、テレビで紹介されていた支援物資ですか?」と、職員の方が多く立ち寄り、熱心に説明を聞いて下さいました。温かい善意もお寄せいただきました。



名古屋大学「名大祭」にブース出展しました

6月9日(日)名古屋大学「名大祭」において、南部食堂Mei-diningにて名古屋大学消費生活協同組合様のご協力をいただきブース出展しました。あいにくの雨模様ではありましたが、約300名の多くの食堂利用の皆さまにユニセフクイズに参加いただきました。ユニセフパネルや支援物資にも目を向けてくださり、ユニセフの活動を知っていただくとても良い機会になりました。温かい善意もお寄せいただきました。



ガールスカウト愛知県第19団の皆さんによる募金活動が行われました

7月21日(日)名古屋でも猛暑が続く中、弘法さまの縁日で賑わう覚王山の日泰寺参道でガールスカウト愛知県第19団の皆さんによるユニセフ募金活動が行われました。熱中症対策として朝の開始時間を9時からと早められましたが、早朝から参道を行き交う方々も多くおられ、スカウトたちの元気な呼びかけにたくさんの方々が募金してくださいました。



みなと医療生活協同組合「第29回まちづくり・健康づくりフェスタ」にブース出展しました

3月10日(日) 1,200名の参加者で大変な賑わいの中、ユニセフブースにも多くの方にお立寄りいただきました。ユニセフクイズに挑戦し、世界の子どもの状況やユニセフの支援などについて熱心に耳を傾けてくださいました。温かい善意もたくさんお寄せいただきました。



5月6日(月)バンテリンドーム連絡通路(ペDESTリアンデッキ)にて愛知県ユニセフ協会主催の募金活動を行いました

5月6日(月)バンテリンドーム連絡通路(ペDESTリアンデッキ)にて、愛知県ユニセフ協会主催の募金活動を行いました。16時～17時半の間、大学生や高校生ボランティアの皆さんも一緒に連絡通路を行き交う大勢の方々にユニセフ募金のご協力をお願いかけました。子どもから大人まで幅広い方々にたくさんの善意をお寄せいただくことができました。「いつも応援してます」「頑張ってくださいね」などのお声かけもいただきました。



「2024国際協同組合デー愛知」に参加の皆さまがユニセフ展示ルーム見学 本山にて

7月17日(水)本山にある生協生活文化会館にて、「2024国際協同組合デー愛知」が開催され、参加された方々に愛知県ユニセフ協会展示ルームを見学いただきました。展示ルームでは用意したユニセフクイズに多くの方にチャレンジしていただき、パネルをじっくり見たり、現地で使われているネパールの水がめを持ち上げたり、マラリア予防の蚊帳を触ってみるなど、多くの方にユニセフを体感し世界の子どもの置かれている現状を知っていただくことができました。



講師学習会

1/27,2/18,4/14,5/26にボランティア講師学習会を開催しました。水汲みのために学校へ行くことが出来ない子どもたちがいることを知ってもらう「水と衛生」と安心、安全な水を手に入れるための浄水剤の使用例と井戸についてふれる「水と衛生Ⅱ」などを試演しました。また「スタディツアー参加者に聴く!」と題し、実際にユニセフの支援先であるアンゴラへ行かれた時の話を伺いました。



学習会

名古屋市立弥富小学校 5年生 出前学習会を 開催しました



5月8日(水)122名の児童の皆さんに出前授業を行いました。体育館にて最初にユニセフ基礎講座とSDGsについて説明した後、4クラスが4つのブース『富の配分』『水と衛生』『教育』『児童労働』を回り、ワークショップを行いました。自分ごとに引き寄せ、自ら行動に移せるように考え、最後は「すべての子どもに〇〇を」を出し合い、自分たちに何ができるのか発表し合いました。

全国大学生生活協同組合連合会「東海ブロック 学生委員春のセミナー」に参加しました

6月1日(土)2日(日)、ウインクあいちでのセミナーに講師として参加しました。2日間で累計約200名の学生の皆さんが参加され、ユニセフのセッションには4回の講座で合計46名の学生さんが参加くださいました。講座後に「ボランティアしたいがどうしたらよいか」「アフリカdayに行きます」などのお声かけもいただきました。皆さんの大きな行動力と可能性を感じた2日間となりました。温かい善意もお寄せいただきました。



愛西市立草平小学校6年生 出前学習会を開催しました

5月10日(金)39名の児童の皆さんに出前授業を行いました。体育館にて最初にユニセフ基礎講座とSDGsについて説明した後、2クラスが4つのブース『富の配分』『水と衛生』『教育』『児童労働』を回りワークショップを行いました。最後は「すべての子どもに〇〇を」を出し合い、自分たちに何ができるのか発表し合いました。この学習を活かして秋の発表会を実施予定とのことです。



金城学院中学校総合探究授業「Dignity」 にゲストスピーカーとして参加しました

6月19日(水)3年生8クラスのうち2クラスの82名の皆さんにゲストスピーカーとして講義を行いました。世界の子どもたちの現状を交えたユニセフ基礎講座とSDGs達成について大切な考え方を説明したあと、最後は「すべての子どもに〇〇を」を発表いただきました。「笑顔」「自分の意志」「安定した暮らし」などしっかりと理由を述べながら、発言いただきました。この学習を活かし、来年3月に発表会を実施する予定とのことです。



津島市立神島田小学校4年生 出前学習会を開催しました

6月28日(金)54名の児童の皆さんにユニセフ出前授業を行いました。体育館にて、最初にユニセフ基礎講座を説明したあと、3つのグループに分かれワークショップを行いました。グループワークでは『水と衛生』『教育』『児童労働(子どもの権利)』などを体験して頂き、最後は「すべて子どもに〇〇を」を出し合い、自分たちに何ができるのか発表し合いました。「未来と幸せ」「命と権利」「自由」などと素敵な言葉がたくさん出され、元気いっぱいに参加していただきました。



東海中学校3年生 本山にて 学習会を開催しました

8月6日(火)東海中学校3年生の生徒の皆さん3名が、ウクライナの子供たちについてのインタビューを兼ねて本山事務所でのユニセフ学習会に来訪されました。事前に学習したウクライナの子供たちの現状について、ユニセフが子どもたちにどのような支援をしているのか、どうしたら子どもたちを救えるのかなど、具体的な質問が相次ぎました。周囲に学んだことを伝え、皆を巻き込んで募金をしたいなど積極的に行動に移そうという意気込みを感じました。



子どもの権利クイズ

子どもの権利について
教えて 詳しくはこちら
子どもと先生の広場



- | | | | |
|--|-------------------------------------|--|-------------------------------|
| <p>1 「子どもの権利条約」ができたのは何年？</p> | <p>①1989年
②1999年
③2009年</p> | <p>2 「子どもの権利条約」に入っている国や地域はいくつ？</p> | <p>①107
②153
③196</p> |
| <p>3 日本が「子どもの権利条約」に入ったのは何年？</p> | <p>①1990年
②1994年
③2003年</p> | <p>4 自分が持っている権利とお友だちが持っている権利は同じように大切である</p> | <p>①はい
②いいえ</p> |



「子どもの権利条約」

「子どもの権利条約」は、子どもの基本的人権を国際的に保障するために定められた条約です。18歳未満の子どもを権利を持つ主体と位置づけ、おとな同様ひとりの人間としての人権を認めるとともに、成長の過程で特別な保護や配慮が必要な子どもならではの権利も定めています。前文と54条からなり、世界中の子どもが生まれながらに



もつ様々な権利、それを実現するために必要な具体的な事項を規定しています。

「子どもの権利条約」4つの原則

- 『差別の禁止』 『生命、生存及び発達に対する権利』
- 『子どもの最善の利益』 『子どもの意見の尊重』

子どもの権利条約の基本的な考え方は、この4つの原則で表されます。ユニセフの行うすべての活動は、子どもの権利条約に基づいています。途上国などで実施する支援活動、日本を含む先進国でのアドボカシー活動を通して、条約に謳われている権利の実現を目指しています。

お知らせ ユニセフの輪が広がっています

名古屋市立名東高等学校国際英語科ゼミ生の皆さんから募金をご寄付いただきました

2月14日(水) 生協生活文化会館にて、募金の贈呈式を行いました。生徒の皆さんからは、「最初は恥ずかしかったけど募金して頑張ると声をかけられて嬉しかった。これからは募金活動をしている人の身になって考えようと思う」「一度通り過ぎた人がもう一度戻ってきて募金してくれて感激した」など、募金活動をすることにより様々な人々の温かみやエールを得られたようでした。



名古屋大学教育学部附属中・高等学校の皆さんから募金をご寄付いただきました

7月1日(月) 生協生活文化会館にて、名古屋大学教育学部附属高等学校2年生4名の皆さんによる募金の贈呈式を行いました。6月に同校にて中学生高校生と一緒に1週間募金活動をし、生徒や先生方からたくさんの募金が寄せられたとのこと。今後に向けての抱負を「ユニセフのDVD教材を見て、学校の教科書だけでなく映像から学ぶことが多かった。ユニセフを通じて世界の子どもたちと触れ合いたい」など熱く語られ、自ら行動し発信することの重要性を肌で感じたようでした。



「オリーブの会名古屋」の皆さんからイオンギフトカードをご寄付いただきました

4月14日(日) 生協生活文化会館にて、「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」イオンギフトカードのご寄付をいただき贈呈式を行いました。いつもユニセフ活動を応援いただいている皆さまに感謝しつつ、愛知県内の出前授業やイベント出展などに有効に大切にに使わせていただきます。



ユニセフ募金にはいろいろな種類があります

- ① ユニセフ募金
- ② マンスリーサポートプログラム
- ③ 緊急募金・復興支援募金
- ④ 分野・地域指定募金
- ⑤ ユニセフ支援ギフト



*ユニセフの支援の様子を動画でご覧いただけます。

- ※その他の募金
- ①外国コイン
- ②使用済み切手・未使用切手(記念切手など)
- ③古銭、古札
- ④書き損じはがき



▲ 寄贈頂いた未使用切手

★詳しくは愛知県ユニセフ協会HPをご覧ください。

お知らせ いずれもユニセフブース出展予定

9月5日～8日(ブース出展はウィルあいち) あいち国際女性映画祭2024開催
主催：公益財団法人あいち男女共同参画財団

11月2日 大高緑地公園にて 愛知労働スポーツフェスティバル2024開催
主催：愛知県労働者福祉協議会/愛知県労働者スポーツフェスティバル実行委員会

【お詫び】Vol.3では、活動報告の「学習会」で名古屋市立千種高等学校と記載しましたが正しくは愛知県立千種高等学校でした。訂正してお詫び申し上げます。

オンラインでも手続きいただけます。

賛助会員へのご協力をお願いします

年会費は、日本ユニセフ協会が行う募金活動および広報・アドボカシー(政策提言)活動のほか、愛知県ユニセフ協会をはじめとする日本ユニセフ協会と協定を結ぶ地域組織の運営にも役立てられます。

- 一般賛助会員(個人の方) …………… 1口5,000円
- 学生賛助会員(18歳以上の方) …… 1口2,000円
- 団体賛助会員(企業・団体など) …… 1口100,000円



2024年7月時点の愛知県ユニセフ協会

一般賛助会員	227名
学生賛助会員	12名
団体賛助会員	29団体
ボランティア登録人数	72名

お気軽にお立ち寄りください！愛知県ユニセフ協会

〒464-0824 愛知県名古屋市千種区稲舟通 1-39
生協生活文化会館 2階(コープ本山2階)
☎ 052(783)7230 FAX 052(781)7191
E-mail : aichi@unicef-aichi.jp
https://www.unicef-aichi.jp/
アクセス 地下鉄「本山」駅4番出口より南へ徒歩約2分

